

- 問1 2019年に発効した日・EU経済連携協定（EPA）において、日本からの輸出拡大が期待されている、関税が段階的に撤廃されることになった主な品目はどれですか。（2026年 兵庫県公立入試 類似）
- 希土類（レアアース）
 - 乗用車
 - 原油
 - 小麦
- 問2 2010年代半ば、佐賀県などの地方自治体においても外国人住民数が増加傾向にあり、特に2014年の約4300人から2015年には4500人を超えるなど、増加のペースが速まりました。このように、異なる国籍や文化背景を持つ人々が、地域社会の一員として共に生きていくための考え方を何といえますか。（2018年 佐賀県公立入試 類似）
- 社会保障制度
 - 持続可能な開発
 - 多文化共生
 - 排他的経済水域
- 問3 再生可能エネルギーは、持続可能な社会を実現するための重要な資源として世界中で導入が進められています。石炭や天然ガスなどの化石燃料と比較した際の、再生可能エネルギーの一般的な特徴と利点について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2022年 愛媛県公立入試 類似）
- 自然の力を利用するため、発電時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない。
 - 天候や時間帯などの自然条件に関わらず、常に一定の電力を安定して供給できる。
 - 資源が特定の地域に集中して埋蔵されているため、特定の国からの輸入に頼る必要がある。
 - 化石燃料に比べてエネルギー密度が高いため、わずかな量で大量の電力を発生させることができる。
- 問4 日本の農産物市場では、年間を通じて安定した供給を維持するために、国内外の様々な産地が組み合わされています。北海道産のかぼちゃの入荷が減少する1月から5月にかけて、その供給を補う役割を果たしている主な産地と、その流通上の特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 三重県公立入試 類似）
- 産地はメキシコであり、生産コストが低いため常に国内産よりも安価で大量に流通している
 - 産地は北海道であり、温室栽培などの技術を活用して一年中一定の供給量を保っている
 - 産地はニュージーランドであり、北海道産と同じ時期に出荷することで市場の競争を促している
 - 産地はメキシコであり、主要な産地の供給が途切れる端境期に供給を行うことで価格が維持されている
- 問5 日本の都道府県別の就業者構成を分析した際、東京都や大阪府などの都市部で特に高い割合を示す産業区分があります。卸売業や小売業、医療・福祉、情報通信業に従事する人々が含まれるこの産業区分の特徴について、正しい説明を選びなさい。（2018年 京都府公立入試 類似）
- 自然に働きかけて資源や作物を採取し、生活の基礎を支える産業
 - 地下資源を採掘し、エネルギーを供給することで産業全体を支える産業
 - 原材料を加工して機械や建物を造り出し、物質的な豊かさを生む産業
 - 物資の輸送、情報の提供、商品販売などのサービスを提供する産業
- 問6 東京都中央卸売市場におけるキャベツの入荷量を確認すると、冬から春にかけては愛知県や千葉県からの入荷が中心ですが、7月から9月にかけては群馬県からの入荷が圧倒的な割合を占めます。群馬県でこのように夏場に集中的な出荷が行われる理由として、最も適切なものはどれですか。（2019年 滋賀県公立入試 類似）
- 平坦な土地が広がっており、大規模な機械を導入して一年中安定した量を生産する体制を整えているため
 - 標高が高く夏でも冷涼な気候を利用して、平地での出荷が減る時期に合わせて収穫・出荷しているため
 - ビニールハウスなどの施設を利用し、本来の収穫時期よりも時期を早めて出荷する工夫をしているため
 - 大消費地である東京に隣接しているため、夏の暑さで傷みやすい野菜を短時間で輸送できるため
- 問7 北海道の根釧台地などで盛んに行われている「酪農」の特徴と背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 島根県公立入試 類似）
- ビニールハウスなどの施設を利用して、暖房により成長を早める促成栽培を行い、冬でも野菜を出荷している。
 - 主に肉用の牛や豚、鶏を飼育し、大規模な加工工場で精肉にしてから全国の市場へ出荷している。
 - 大都市の消費地に近い利点を活かし、輸送コストを抑えて新鮮な野菜や果物を集中的に生産している。
 - 冷涼な気候のため稲作には適さないが、広大な土地で牧草を栽培し、乳牛を育てて生乳や乳製品を生産している。
- 問8 ある4つの府県の統計を比較した際、大阪府は「昼夜間人口比率」が100%を大きく上回っていました。この統計から読み取れる大阪府の都市構造に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 山梨県公立入試 類似）
- 大阪府は他の府県に比べて夜間の居住環境が優れているため、昼間に外へ働きに出る人よりも、夜間に帰宅してくる人の方が圧倒的に多い。
 - 大阪府は観光資源が豊富であるため、宿泊を伴わない日帰り観光客が夜間に滞在することで、夜間の人口が昼間の人口を上回っている。
 - 大阪府では100世帯あたりの乗用車保有台数が非常に多いため、自動車を利用して他県へ働きに出る人が多く、昼間の人口が減少している。
 - 大阪府内には商業や事務、管理機能が高度に集積しており、兵庫県や奈良県などの周辺府県から、昼間に多くの通勤・通学者が流入している。
- 問9 東京都などの大都市圏において、秋田県のような地方に比べて「騒音苦情件数」が多くなる背景や理由について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 秋田県公立入試 類似）
- 一戸建ての住宅が多いため、屋外での活動による音が近隣に響きやすくなっているため。
 - 土地の価格が非常に安く、広大な公園や空き地が各所に点在しているため。
 - 人口密度が低いいため、個々の住宅から発生する音が周囲で目立ちやすくなっているため。
 - 高層マンションなどの集合住宅において、多種多様なライフスタイルの人々が密接して暮らしているため。
- 問10 日本において、風力発電や太陽光発電などの自然エネルギーの導入をさらに拡大していくうえでの課題として、最も適切な説明はどれか。（2017年 長野県公立入試 類似）
- 発電の過程で放射性物質が発生するため、厳重な廃棄物処理施設が必要となる
 - 発電時に多量の二酸化炭素を排出するため、酸性雨の原因となる
 - 天候などの自然条件によって発電量が左右されるため、出力が不安定になりやすい
 - 燃料となる石炭や天然ガスの輸入価格の変動により、発電コストが安定しない
- 問11 愛知県の渥美半島や沖縄県などで盛んな菊の栽培では、夜間に電灯で光を当てる工夫がなされています。菊には日照時間が短くなると花芽が形成されて開花する性質がありますが、あえて夜間に光を当てることでどのような効果を狙っていますか。（2019年 徳島県公立入試 類似）
- 光合成を促進させることで、開花の時期を通常よりも早める
 - 日照時間が長いと錯覚させて、開花の時期を意図的に遅らせる
 - 夜間に活動する害虫を光で引き寄せ、効率的に駆除を行う
 - 電灯の熱を利用して周囲の気温を上げ、冬の寒さから菊を守る